

歌声は生きる力

Harmony for JAPAN
活動報告書 2011-2020

Harmony for JAPANは、東日本大震災で被災された地域の合唱活動に特化して復興支援を進める一般社団法人として2011年に設立いたしました。

毎年3月に復興支援コンサート「Harmony for JAPAN」を開催するほか、東北の合唱団への助成、合唱指導者の派遣、合唱作品の委嘱・出版などの活動を行ってまいりました。

震災から10年となる節目に合わせてこれまでの活動をここにご報告申し上げます。



一般社団法人 *Harmony for JAPAN*

● ごあいさつ ●

去年は思いもよらない出来事に世界中が怯えました。

行動の制限、集会の制限、親しい人と会って話すことすら自由ではなくなった世界に驚き、未知なるものへの恐怖を感じました。そんな中、我々にとってさらに衝撃だったのが「歌う事の制限」でした。

人が集って声を合わす事を止めなければいけない・・・そんな世の中が来るとは本当に想像もしていませんでした。

HFJは2020年第9回の開催を断念し、発足当初より一つの区切りと考えていた10年目の2021年の開催も諦めざるを得ませんでした。

「震災で受けた傷を歌の力で癒し、少しでも前へ・・・」を止められた2回分は来年以降必ず取り戻したいと考えます。

今回行ったオンラインでの企画とこの報告書が、我々の10年のご報告と、新たな活動を考えるきっかけになれば幸いです。そして改めましてHFJの活動を今後共どうかよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 Harmony for JAPAN 代表理事 吉田健太郎

「合唱に関わる領域に特化した震災からの復興支援」を掲げて始められた「Harmony for JAPAN」の活動は、東日本大震災10周年という節目の年にもかかわらず、昨年に引き続き例年通りの開催は中止となった。この催しを主催する側として、何とかこの活動の趣旨を途絶えさせることなく、足跡を刻み次に繋げる方法がないかと模索した結果、オンラインによる10年を数える催しの歩みを辿る企画が浮上し、今回実現の運びとなった。

当初は手探りであった10年の歩みは、次第に多くの想いを巻き込みながら発展を続けてきた。ハードルは低くはなかったが被災地から歌声を届けて頂くという方法は、われわれに多くの気付きと学びをもたらした。同時に彼らにも「歌う動機」の一つを届けることが出来たことは「物心両面の支援」についてバランスを保ち、催しの趣旨を実現するものであった。またこの催しから生み出された多くの音楽は、かけがえのない財産となり、合唱の世界に一つの場所を得ているのである。

今回、コロナ禍においてリアルな演奏空間を持ち得ない中で、その足跡を残すための「記録集」とでも言うべきこの冊子の作成は、深い意味を備えている。単に過去を振り返るだけではなく、今後われわれがこのテーマを考える上で大切な示唆を含んでいる。これまでのHarmony for JAPANの活動の関わりの有無にかかわらず、これからの音楽を通じた震災復興支援を考える一助となれば幸いである。

一般社団法人 Harmony for JAPAN 理事 本山秀毅

仲間がいる、多くの声が重なる。
歌う仲間が集う時、祈りは必ず届く。
そう信じていられる。
ありがとう!あなたが来るはず。
だから今年も呼びかけてみた。
(2020年 Harmony for JAPAN プログラム、より)

昨年、私はこんな言葉を寄せました。
よもやそれが、幻のメッセージになるとは!
そして……………
私達の前に立ちはだかる大きな禍いに、今年もあえなく果たせない
ことになってしまった約束。
寂しい、辛い、哀しい、、、みなさんの歌声に出逢いたい!
ごめんなさい。
きつときつと近い未来に、「歌声の集う機会」をもう一度作ります。
Harmony for JAPAN の名の下、
みなさんの「心と心を繋ぎ合わせてくれるコンサート」を実現させます。

「10年目の約束」は、新たな試練に立ち向かう決意になりました。

一般社団法人 Harmony for JAPAN 理事 永井英晴

Message2021

毎年この季節、Harmony for JAPAN の場に立って自分の内面を定点観測できることは、私の作曲活動に様々な意味をもたらしてきました。たとえばひとつの詩を選び取りそれに向き合うとき、10年前の3月を起点とした私の生き方、社会の在り方を問うことになる。そんな積み重ねがこの10年の作曲活動だったと言えます。

10年前、大震災や原発事故を経験した私たちはそれまでの合理主義的な行動原理を反省し、生まれ変わろうとする意志を持った、少なくともその予兆があったと私は感じていました。しかしそのあと大きなバックラッシュが起こりました。結果として日本は世界の中で大きく後退していくことになり、疲弊し、現在に至っています。この一年、私たちは新型コロナウイルスに大いに悩まされながら、この社会の歪みが露わになる場面を目撃し、しかも皆がその当事者になるという特異な時代を過ごすことになりました。

いま芸術分野はコロナ禍の中で苦難が続いていますが、これまで培ってきたコミュニティは消えていません。ひとりひとりの人間が大切にされ、自然とともに生きていくためのゼロ地点が今である。そのために芸術はコミュニティを維持し発信を続けなければならない。そのように思いなら、2021年の3月を迎えています。Harmony for JAPAN のご活動を継続なさっている各位に敬意を表しつつ。

作曲家 信長貴富

Harmony for JAPAN 2011 - 2020

10年の活動

2011 2012

東日本大震災で被災された地域の合唱活動に
特化して復興支援を進める一般社団法人として設立

祈り・願い・そして希望

● Harmony for JAPAN in 長岡京

2012年3月11日(日)
京都府長岡京記念文化会館

ゲスト：木下牧子

出演団体：(13団体)

ル・ヴァン エレガント／大阪府高等学校合同合唱団／岸和田市少女少女合唱団／京都府西城陽高等学校合唱部／京都バッハ合唱団／
大阪センチュリー合唱団／立命館大学混声合唱団メディックス／関西学院グリーンクラブ／大阪フィルハーモニー合唱団／
京都西山コルアカデミー／女声合唱コルアムゼー／Fresches Ei／合唱団《ロンド・ハルモニア》

被災地からのメッセージ～ 岩手県立高田高等学校音楽部 構成・朗読 京都府立西城陽高等学校合唱部

合同合唱：

管弦楽と合唱のための「光はここに」

作詩：立原道造 作曲：木下牧子

指揮：本山秀毅

「祈り、願い、そして希望」合唱団・管弦楽団

復興祈念ハートフル・コンサート

● Harmony for JAPAN in 京都

2012年3月11日(日)
同志社大学寒梅館ハーディーホール

出演団体：(26団体)

烏丸中学校生徒会／みやこ・キッズ・ハーモニー／佛教大学混声合唱団／ボランティア合唱団 ゴールデン・ベル／
女声合唱団アヴァンティ／京都府立大学合唱団／同志社グリーンクラブ／岐阜大学コーラスクラブ／京都鴨川混声合唱団／東山コーラス／
混声合唱団福井コル・アカデミー／京都シティーフィル合唱団／Giovanni & ユーベルコルとすてきな仲間たち／
アンサンブルキール／フラワーコーラス／淀川混声合唱団／男声合唱団 ARCHER／イベント合唱団／日本語ユース・クワイア／
大谷大学混声合唱団／合唱団「葡萄の樹」／同志社コル・フリューゲル／信州大学グリーンクラブ／合唱団AUG／
なにわコラリアーズ／混声合唱団 京都木曜会

震災の後、被災者の方々にエールを届けるために新しく作られた合唱曲

「ほらね、」[Greetings] [Órtus Cárminis] 「言葉」 「見上げてごらん夜の星を」

男声合唱曲「雨ニモマケズ」初演

作詩：宮沢賢治 作曲：千原英喜

指揮：伊東恵司 ピアノ：岩城かおり

「雨ニモマケズ」公募男声合唱団



2013

復興祈念コーラスコンサート

Harmony for JAPAN 2013

2013年3月9日(土)～10日(日)
京都府長岡京記念文化会館

ゲスト：信長貴富

東北招待合唱団：(3 団体)

安積合唱協会／宮古木曜会合唱団／福島県南相馬市立小高中学校特設合唱部

出演団体：(28 団体)

立命館大学混声合唱団メディックス／京都鴨川混声合唱団／女声合唱団「結」／大阪センチュリー合唱団／アンサンブル・アコール、KC ユースクローパー、クロワール合同／大阪フィルハーモニー合唱団／大阪府高等学校合同合唱団／京都バツハ合唱団／岸和田市少年少女合唱団／佛教大学混声合唱団／京都西山コールアカデミー／岐阜大学コーラスクラブ／淀川混声合唱団／京都シティーフィル合唱団／Ensemble EVAN&幸福の割れ鐘／混声合唱団 福井コールアカデミー／合唱団 GMC / 男声合唱団 ARCHER & 猪名川グリーンクラブ。／合唱団 AUG / Ensemble Musicus / 合唱団「葡萄の樹」 / 大阪市立三津屋小学校音楽クラブ／あふみヴォーカルアンサンブル／Ensemble Seed / 民謡合唱団「篝」 / なにわコリアーズ / コール・フリーリー / 混声合唱団 京都木曜会

信長貴富合唱講習会 言葉と音楽の密なる関係を知ろう!

解説：信長貴富 指導・指揮：伊東恵司 ピアノ：飯沼京子 進行：永井英晴

合同合唱 オーケストラと歌う信長貴富作品

一詩人の最後の歌 訳詩：山室静 作曲：信長貴富

夕焼け 作詩：高田敏子 作曲：信長貴富

こころよたえ 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富

くちびるに歌を 作詩：C. フライシュレン 訳詩・作曲：信長貴富

指揮：本山秀毅

演奏：Harmony for JAPAN 2013 合唱団&管弦楽団



《群青》の初演



小高中学校校歌でお出迎え

Message2021

Harmony for JAPAN に支えられて

宮古木曜会合唱団 団長：川原田隆司 (岩手県宮古市)

あの東日本大震災から10年・・・あの時傷ついたそこがこの風景は大きく変わりましたが、宮古市民の安らぎの海「浄土ヶ浜」は、今日も美しい青緑色を湛えております。

宮古木曜会合唱団は昭和41年に結成された、当地では一番古い混声合唱団です。現在まで数々の指揮者の指導の下、古今東西の合唱曲を歌い続けてまいりました。しかし、ここ10年、文化活動の継続が危ぶまれている中で、Harmony for JAPAN さんがいろいろな企画を打ち出してくださいましたことは、当団にとってもおおいに力になりました。素晴らしい作詞作曲家による新譜を次々と出版したり、地方の演奏会に対して助成金をお送りくださったり・・・私共民間の合唱団に温かいエールをずっと送り続けておられます。

皆様の御支援の下、宮古木曜会合唱団は2021年3月7日(日)、第38回定期演奏会を開催します。このコロナ禍の中、一人ひとり気を引き締めながら、2014年来歌い続けてきた「群青」を、万感の思いを込めて歌わせていただきます。

さて、2013年3月、宮古木曜会はHarmony for JAPAN2013演奏会に京都へ招かれ、団員一同大変な感動を受け宮古に帰ってまいりました。その時の感想を団員3人に綴ってもらいましたので、どうかお読みください。Harmony for JAPAN さんに感謝を込めて。

Harmony for Japan コンサートに参加して

Sop: 大久保秀子

京都のホールで、本山先生の指揮の下、皆さんと合唱できた事は、夢のようなとても幸せな時間でした。

「群青」を歌われた中学生の皆さんの歌声に涙があふれ、純粋な心に触れ、何か胸につかえていた物が吹っ切れたような、前に進む勇気をもたらした、そんな気持ちになった事を覚えています。

Bass: 木村茂男

8年前お招きをいただき、京都に向かう新幹線の窓から富士山が見えました。期待がふくらみました。

翌日の会場で、小高中学の皆さんの「群青」を聴きました。「響け この歌声 / あの天空の彼方までも」との展開に思わず引き込まれました。

その後、「群青」の楽譜が届きました。その序文として本山先生が寄せられたのは、まさに「真実の言葉」であり、あの会場の感動が甦りました。とにかく、8年前の大感動の余波は、今も繰り返し届くので、幸せな気持ちになります。

本当に、ご招待ありがとうございました。

合同合唱 オーケストラと歌う信長貴富作品 2 ～ふるさと

夜明けから日暮れまで 作詩：和合亮一 作曲：信長貴富

種山ヶ原 作詩：宮沢賢治 作曲：A.ドヴォルジャーク 編曲：信長貴富

故郷 作詩：高野 辰之 作曲：岡野 貞一 編曲：信長貴富

ころようたえ 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富

群青 作詩：南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生（構成：小田美樹） 作曲：小田美樹 編曲：信長貴富

指揮：本山秀毅

演奏：Harmony for JAPAN 2014 合唱団&管弦楽団

群青の襷 福島県南相馬市立小高中学校 教諭 小田 美樹 （プログラムより）

今日と同じステージで「群青」を初めて演奏した日からちょうど1年が経ちました。

あの時のメンバーはほとんど残ってはいませんが、今年のメンバーも先輩たちから見えぬ襷をしっかりと受け取っているように感じます。「群青の襷」です。故郷を離れて3年、あの震災の直後に間借りの校舎で入学式もないまま中学校生活をスタートさせた学年が、数日後卒業の日を迎えます。今、小高中学校で学ぶ子どもたちは誰一人母校を知らぬ子どもたちです。それでも、見えぬ「群青の襷」を身にまとい、誇り高く仮設校舎で中学校生活を送る生徒たち。歌い上げる生徒たち。彼ら一人ひとりが私の誇りであり、今日をここで生きる私を支えてくれる存在だと感じています。「群青」の学年の生徒たちは昨年の Harmony for Japan での演奏の3日後、全員が無事卒業していきました。将来への大きな夢と、故郷に帰る希望と、そして「群青の絆」を胸に、晴れやかに「群青」を歌い上げ巣立っていきました。「いつか必ず小高で会おうね」と約束して、彼らの背中を見送った日がつい先日のごとのようです。「群青の襷」は決して彼らが作ったものではなく、小高中学校の歴史とともに脈々と受け継がれてきたものです。それはたとえ今の状況のように場所を変えたとしても受け継がれ続けていくのだと思います。どこで学校生活を送ろうとも、彼らの学び場が私たちの「小高中学校」です。そして今、「群青の襷」を受け取っている彼らも次の世代へしっかりと受け継いでいってくれるのでしょうか。どこまでも続く空、東に群青の海、西に茜色に染まる山々。春は花々が咲き乱れ、夏には花火大会、秋には黄金の稲穂が町を染め、東北なのに雪の少ない過ごしやすい冬を迎える。私たちの小高はそんな町です。美しく住みやすい町です。

昨年、遠く離れた京都の皆様にあたたかく受け入れていただいた「群青」は、彼らの望郷の歌であるとともに支え応援して下さった皆様への感謝の歌として今もなお歌い続けております。楽譜という形になり、たくさんの方に演奏していただき、「群青」のためにご尽力いただき応援して下さった皆様のおかげで私たちの「群青の襷」は震災を経てなお色濃く存在しているように感じています。そしてなにより、東北の片隅で密やかに学校生活を送っていた私たちを見つけてくださり、被災地で歌い続ける希望を与えて下さった本山秀毅先生に改めて感謝申し上げたいと思います。



2015

復興祈念コーラスコンサート

Harmony for JAPAN 2015

～届け!この願い、気高く咲ける永遠の花に。

2015年3月7日(土)～8日(日)
京都府長岡京記念文化会館

復興祈念コーラスコンサート

Harmony for JAPAN 2015

届け!この願い、気高く咲ける永遠の花に。

3.7 17:30
21:00

【群青】(吹奏楽伴奏あり) 作曲 信長貴富
作詞 和合亮一 編曲 小田美樹
演奏 南相馬市立小高中学校卒業生

【群青】(吹奏楽伴奏あり) 作曲 信長貴富
作詞 和合亮一 編曲 小田美樹
演奏 南相馬市立小高中学校卒業生

出演団体 (協賛)

日本音楽オーケストラで歌おう!
このコンサートは、被災地の子供たちにも
聴かせるべく、特別に無料のチケットを
配布し、以上無料のチケットで聴取し
たい方は、お申し込みください。

出演団体 (協賛)

南相馬市立小高中学校卒業生、
南相馬市立小高中学校卒業生、
南相馬市立小高中学校卒業生

3.8 11:00
18:30

【ハートフルコンサート】
南相馬市立小高中学校卒業生、
南相馬市立小高中学校卒業生

招待合唱団
復興祈念コーラスコンサート
復興祈念コーラスコンサート
復興祈念コーラスコンサート

会場 南白とち町
京都府長岡京記念文化会館

大場料 (2日通し券) 1,500円

主催 一般社団法人 Harmony for JAPAN
後援 (協賛) 南相馬市、南相馬市青年会議所、
京都府長岡京記念文化会館、吹奏楽部、
サントリーホール株式会社、サントリーホールホールディングス

東北招待合唱団：(3 団体)

福島県農業高校合同合唱団 / 福島県双葉郡大熊町立大熊中学校特設合唱部 / 福島県南相馬市立小高中学校特設合唱部

出演団体：(30 団体)

大阪府高等学校合同合唱団 / 岸和田市青少年少女合唱団 / 舞鶴市立加佐中学校合唱部 / 京都市立西京極中学校合唱部 / 立命館大学混声合唱団メディックス / 民謡合唱団 箆 / クロワール&KC ユースクローバー / 京都鴨川混声合唱団 / フォンテーヌ声楽アンサンブル / 合唱団 西木屋町 / 大阪センチュリー合唱団 / 混声合唱団 福井コールアカデミー / 混声合唱団 京都木曜会 / 京都シティーフィル合唱団 / Sotto Voce / レガータ / あふみヴォーカルアンサンブル / 女声合唱コールアムゼー / 合唱団《ロンド・ハルモニア》 / クリトメリア / 敦賀市民合唱団 / 京都西山コールアカデミー / Ensemble la luce / 合唱団 LABO / 女声合唱団「結」 / 合唱団おとくに / 岐阜大学コーラスクラブ / 京都バッハ合唱団 / アンサンブル エヴォリュエ / 合唱団 葡萄の樹

みんなで「永遠の花」を歌おう 指揮：竹田 亨司 伴奏：村上 果

「群青」（吹奏楽伴奏版）初演

作詩：福島県南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生（構成・小田美樹）作曲：小田美樹 編曲：信長貴富
指揮：本山秀毅
合唱：東北&関西の中学・高校生による合同合唱団
吹奏楽：長岡京市立長岡中学校吹奏楽部

ジョン・ラターを日本語&オーケストラで歌おう!

このうるわしき大地に (For the beauty of the earth)
素晴らしきものすべてを (All things bright and beautiful)
ルック・アット・ザ・ワールド〜世界はたからもの〜 (Look at the world)
永遠の花 (A flower remembered)
日本語詞：ヘルビック貴子 作曲：J. ラター
指揮：本山秀毅
演奏：Harmony for JAPAN 2015 合唱団&管弦楽団
福島県農業高校合同合唱団、双葉郡大熊町立大熊中学校特設合唱部、南相馬市立小高中学校特設合唱部

合同合唱 オーケストラと歌う信長貴富作品3

群青 作詩：南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生（構成：小田美樹）作曲：小田美樹 編曲：信長貴富
夕焼け 作詩：高田敏子 作曲：信長貴富
ころよ うたえ 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富
くちびるに歌を 作詩：ツェーザル・フライシュレン 訳詞・作曲：信長貴富
指揮：本山秀毅
演奏：Harmony for JAPAN 2015 合唱団&管弦楽団

A Flower Remembered に寄せて ジョン・ラター（プログラムより）

2011 年 3 月に東北地方で発生した恐ろしい地震と津波のニュースは、他の皆と同じく私にとっても大きな衝撃であり、心痛むものでした。この私の思いを音楽を通して表現したいと思っていたところ、光栄なことにハーモニー・フォー・ジャパンから、亡くなった方たちへの追悼のための合唱曲を作曲してもらえないかという依頼をいただいたのです。まず最初に私に浮かんだ思いは、人生とはなんと儚いものか、ということ…まるで咲いたと思ったらすぐに萎れて消えてしまう花のように。その次に浮かんだのは、人生とはなんと力強いものか、ということ…新たな花が芽を出し咲き誇り、生命のサイクルがまた始まるように。そしてまた、思い出というものも強い力を持っています。誰かのことを思い出せば、その人は私たちのそばで生き続けるのです。これが今回の災害に対する私なりの答えであり、同時に私の人生哲学でもあります。再生と希望に終わりはなく、永遠です。この私の思いが、A Flower Remembered の詞と音楽を通して、演奏してくださる、そしてお聴きになるすべての方々にはっきりと届くことを願ってやみません。



《群青》吹奏楽版初演

2016

復興祈念コーラスコンサート

Harmony for JAPAN 2016

～今、うたうことの喜び

2016年3月5日(土)～6日(日)
京都府長岡京記念文化会館

東北招待合唱団：(2 団体)

福島県双葉郡大熊町立大熊中学校特設合唱部 / 福島県南相馬市立小高中学校特設合唱部

出演団体：(42 団体)

京都市立西京極中学校音楽部 / 舞鶴中高生合同合唱団 / 京都府高等学校合同合唱団 / Ensemble TOS / PRAY FROM KOBE 合唱団 / 沂風室内合唱團 / 民謡合唱団 篝 / 合唱団おとくに / アンサンブル風 / 京都西山コールアカデミー / 日吉台合唱団 / 岐阜大学コーラスクラブ / 岸和田市少年少女合唱団 / 日の出混声合唱団 / みこころ64&フレンズ / 京都鴨川混声合唱団 / ラピスラズリ / 日本新薬・HORIBA ブラボー!合唱団 / 女声合唱団コカリナ / 敦賀市民合唱団 / B-Friends / 大阪センチュリー合唱団 / 京都シティーフィル合唱団 / Ensemble Eternal / 合唱団《ロンド・ハルモニア》 / 混声合唱団 Shall We Sing? / かおん / 合唱団まんさく / コールメイプル / 合唱団 AUG / 女声合唱団「結」 / 立命館大学混声合唱団メディックス / あふみヴォーカルアンサンブル / クロワール / 合唱団 LABO / 女声合唱団「和」 / 混声合唱団京都木曜会 / アンサンブル Dolce / 合唱団「葡萄の樹」 / フォンテヌ音楽アンサンブル / 京都バツハ合唱団 / KC クローバー

「きぼうの唄」をみんなで歌おう! 指揮：岸本雅弘 ピアノ：石若雅弥

Harmony for JAPAN 2016 委嘱作品「歌になりたい」 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富

合同合唱 信長貴富と未来へうたう

初心のうた 作詩：木島始 作曲：信長貴富
鳥の歌 作詩：一倉宏 カタルーニャ民謡 編曲：信長貴富
リフレイン 作詩：覚和歌子 作曲：信長貴富
こころよたえ 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富
未来へ 作詩：谷川俊太郎 作曲：信長貴富
歌になりたい 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富
指揮：本山秀毅 ピアノ：前田裕佳
演奏：Harmony for JAPAN 2016 合唱団



福島県双葉郡大熊町立大熊中学校特設合唱部

Message2021

Harmony for JAPAN に寄せて

福島県西白河郡矢吹町立矢吹中学校 酒井澄人

あの東日本大震災から早くも10年、そして福島県双葉郡大熊町立大熊中学校特設合唱部として出演させていただいた日から5年の年月が過ぎようとしています。私が Harmony for JAPAN に初めて足を運んだのは2013年3月、あの名曲「群青」が演奏された時でした。本当に心を揺さぶられる素晴らしい曲と演奏で、あの日の感動は今でもはっきり覚えております。それ以来、毎年足を運ぶようになり、いつかこの素晴らしいステージで演奏してみたいと思いました。2015年3月、一大決心をして中学校へ転出することになり、内示により大熊中学校勤務と告げられた日、Harmony for Japan を拝聴するため長岡京を目指し乗車した夜行バスの車中で、本山先生に「大熊中に赴任することになりました」とメールを送信したところ、「それは大変奇遇ですね」という返信をいただきました。メールの意味が理解できないまま長岡京に到着し、プログラムを見ると、そうです。大熊中が出演しているではありませんか?本山先生からのメールの意味がやっと分かりました。大熊中学校の子どもたちの歌声はとっても素直で好感が持て、4月からこの子どもたちとともに音楽ができることを光栄に思いました。大熊中学校特設合唱部の練習は、昼休みの15分のみ。そのため子どもたちと一緒に演奏する曲を考え、福島県合唱コンクールでは信長貴富先生の「新しい歌」「きみ歌えよ」に取り組み、銅賞をいただくことができました。その後、Harmony for JAPAN 出演の打診をいただき、大熊町教育委員会のご配慮もあり、1・2年生全員の17名と高校進学が確定した3年生6名の21名で参加させていただきました。小高中学校との皆さんとのジョイント、信長先生の新作「歌になりたい」の初演、本当に感動的なステージを体験させていただきました。そしてコンクールで取り組んだ「新しい歌」「きみ歌えよ」を心から楽しんで歌い、信長先生から温かい言葉いただき、子どもたちと一緒に感動したこと、本当に懐かしく思います。ちなみに部長の遠藤瞭くんは、当日急な発熱のため参加できず、「歌になりたい」の楽譜に一倉先生、信長先生、本山先生のサインをお願いし、彼へのお土産としました。現在、新型コロナウィルス感染症拡大のため、合唱すること自体が非常に難しい状況となっています。一日も早く、安心して心から合唱できる日が来ることを願うとともに、Harmony for JAPAN のますますのご発展をお祈りしております。

Harmony for JAPAN 仙台特別演奏会 「J.S.バッハ 口短調ミサ曲」演奏会

開催日 2016年3月27日 (日)
会場 東北大学百周年記念会館川内萩ホール

指揮 本山秀毅
合唱指導 辻秀幸、佐藤淳一、本山秀毅
管弦楽 東京藝術大学バッハカンタータクラブ OB
オルガン 今井奈緒子
独唱 ソプラノ1：相澤裕子、ソプラノ2：佐藤明子、アルト：高山圭子、
テノール：佐藤淳一、バス：田代和久
合唱 Harmony for JAPAN バッハ特別合唱団



2017

復興支援コーラスコンサート

Harmony for JAPAN 2017

～希望になりたい 未来になりたい 歌になりたい

2017年3月4日(土)～5日(日)
立命館いばらきフューチャープラザ グランドホール

ゲスト：信長貴富、小田美樹

東北招待合唱団：(3 団体)

岩手県立宮古高等学校音楽部／宮城県石巻好文館・塩釜・気仙沼高等学校合同合唱団／
福島県合唱連盟いわき支部中学校・高校生特設合唱団

出演団体：(45 団体)

岸和田市少年少女合唱団／舞鶴中高生合同合唱団／京都市立西京極中学校音楽部／大阪府立清水谷高等学校合唱部／
拉絳人風雅頌合唱團／女声コーラスはなみずき／立命館大学混声合唱団メディックス／京都鴨川混声合唱団／穂積コールシュクレ／
B-Friends／ラピスラズリ／合唱団《ロンド・ハルモニア》／コール淡水・神戸／クリトメリア／神戸中央合唱団／
京都シティーフィル合唱団／日吉台合唱団／日本新薬・HORIBA ブラボー!合唱団／アンサンブル・クレール／合唱団おとくに／
コーロあかつき／合唱団まんさく／大阪センチュリー合唱団／クロワール／合唱団 AUG／混声合唱団 Shall We Sing?／かおん／
合唱団 Rinte／ミシュマスコア岡山／京都西山コーラアカデミー／アンサンブル S／女声コーラスむぎ笛／アンサンブル風／
Ensemble Eternal／岐阜大学コーラスクラブ／LA FENICE／京都ひまわり合唱団／
アンサンブル“ポポロ”／女声合唱団「結」／混声合唱団京都木曜会／
民謡合唱団 篝／フォンテーヌ声楽アンサンブル／アンサンブル エヴォリュエ／
女声合唱団コカリナ&ル・ヴァン エレガント／京都バッハ合唱団

熊本からの歌声 合唱団いひゅうもん

神戸からの歌声 PRAY FROM KOBE 合唱団

「明日も会えるかな?」出版記念トーク&青の三部作演奏



熊本からの歌声 合唱団いひゅうもん

合同合唱 吹奏楽と歌う信長貴富作品

奏楽 作詩：谷川俊太郎 作曲：信長貴富

群青 作詩：南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生（構成：小田美樹） 作曲：小田美樹 編曲：信長貴富

歌になりたい 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富

くちびるに歌を 作詩：ツェーザル・フライシュレン 訳詞・作曲：信長貴富

指揮：本山秀毅

演奏：Harmony for JAPAN 2017 合唱団&吹奏楽団

Message2021

岩手県立宮古高等学校音楽部 里見まどか

私は Harmony for JAPAN 2017 に参加させていただきました。東日本大震災後からさまざまな復興イベントやコンサートにご招待いただき、そのたびに合唱の持つ力と人の温かさを感じていました。その中でも Harmony for JAPAN は特に印象に残っています。本番までのタイトなスケジュールの中で、他の合唱団の方々と交流や合同合唱の練習などを行い、本番を迎える前にはすでに心がほかほかしていました。本番は、会場の優しい雰囲気やお客様の表情、温かい拍手に包まれた、とても幸せな空間でした。このような素晴らしいコンサートにご招待いただき、本当にありがとうございました。

私は現在、大学で合唱を続けています。今年度はなかなか対面での合唱ができませんでしたが、最近になってようやく、少人数での活動を再開できています。活動再開日の発声練習の時点で、自分以外の人の歌声が聞こえることはこんなに嬉しいものなのかと興奮してしまい、合唱することのできるよろこびを強く感じる出来事となりました。合唱を愛するすべての方に、早くこれまでのような合唱活動を再開できる日が来ることを願っています。



2018

復興支援コーラスコンサート

Harmony for JAPAN 2018

～今、また吹かせよう!新しい風を 歌声にのせて

2018年3月3日(土)～4日(日)
京都府長岡京記念文化会館

ゲスト：信長貴富、なかにしあかね、小田美樹

東北招待合唱団：(2 団体)

岩手県陸前高田市立第一中学校特設合唱団/福島県二本松第一中学校・安達東高等学校合同合唱団

出演団体：(50 団体)

B-Friends / 日吉台合唱団 / 京都市立西京極中学校音楽部 / 立命館大学混声合唱団メディックス / 混声合唱団 京都木曜会 / 岸和田市少年少女合唱団 / KC クローバー / 舞鶴中高生合同合唱団 / 岐阜大学コーラスクラブ / 京都バツハ合唱団 / フォンテーヌ声楽アンサンブル / 京都西山コールアカデミー / アンサンブル風 / Ensemble Five Seasons / 京都ひまわり合唱団 / G.U.Choir / 京都鴨川混声合唱団 / 女声合唱団コカリナ / コーロあかつき / 混声合唱団 Shall We Sing? / クリトメリア / 合唱団AUG / くりの実会 / 合唱団《ロンド・ハルモニア》 / 混声合唱団ヴォーチェ / Ensemble Clair, Kyoto / 合唱団ノイエ・フリーゲル / 合唱団 Rinte / 女声コーラスむぎ笛 / 大阪センチュリー合唱団 / 女声合唱団「和」 / 日本新葉・HORIBA ブラボー!合唱団 / 神戸中央合唱団 / 京都シティーフィル合唱団 / 月ヶ瀬コーラス / Ensemble Eternal / 民謡合唱団「篝」 / コール・フリーリー / コール淡水・神戸 / Voce Carina / 合唱団まんさく / ラピスラズリ / LA FENICE / レディースシンガーズ Sophia / 混声合唱団 グリーン・エコー / アンサンブル Dolce / 合唱団 Rinte / クロワール / 合唱団おとくに / ル・ヴァン エレガント / アンサンブルS / アンサンブル エヴォリュエ / Frisches Ei

神戸からの歌声 PRAY FROM KOBE 合唱団

ヒデさんと歌うなかにしあかね女声合唱作品

悲しみの意味 作詩：星野富弘 作曲：なかにしあかね

釣鐘草 作詩：星野富弘 作曲：なかにしあかね

ケヤキ 作詩：まど・みちお 作曲：なかにしあかね

指揮：辻秀幸 ピアノ：なかにしあかね

演奏：Harmony for JAPAN 2018 女声合唱団



ゲスト：信長貴富、小田美樹

東北招待合唱団：(5 団体)

岩手県立釜石高等学校音楽部／岩手県立久慈高等学校音楽部／岩手県立宮古高等学校音楽部／福島県立相馬東高等学校合唱部／福島県立田村高等学校女声合唱団

出演団体：(41 団体)

B-Friends／岸和田市少年少女合唱団／舞鶴中高中生合同合唱団／関西大学初等部合唱部／京都市立西京極中学校音楽部／星瀬藝術合唱団／フォンテーヌ声楽アンサンブル／合唱団《ロンド・ハルモニア》／ラ・プリマベラ／京都鴨川混声合唱団／ムジカ・コロラータ・アンサンブル／コーロあかつき／神戸中央合唱団／Ensemble Clair,Kyoto／岐阜大学コーラスクラブ／民謡合唱団「篝」／女声合唱団「和」／コール・ポコ／立命館大学混声合唱団メディックス／アンサンブル Dolce／日本新薬・HORIBA ブラボー!合唱団／Voce Carina／京都西山コールアカデミー／Ensemble Eternal／コール淡水・神戸／京都シティーフィル合唱団／Coro Festa／日吉台合唱団／合唱団まんさく／Ensemble Five Seasons／アンサンブル風／ル・ヴァン エレガント／京都産業大学混声合唱部ニポポ／ラピスラズリ／京都バツハ合唱団／クロワール／アンサンブルS／グレースコーラス／合唱団 Rinte／合唱団 AUG／Frisches Ei／

神戸からの歌声 PRAY FROM KOBE 合唱団

群青を歌おう 指揮・指導：飯沼 京子 お話し・ピアノ：小田 美樹

小中高生合同演奏 ～ 虹の架け橋・歌の架け橋～

虹 作詞：森山直太郎・御徒町夙 作曲：森山直太郎 編曲：信長貴富

いまだよ 作詞：宮下奈都 作曲：信長貴富

群青 作詞：福島県南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生（構成 | 小田美樹）

作曲：小田美樹 編曲：信長貴富

指揮：本山 秀毅

演奏：Harmony for JAPAN 2019 管弦楽団



ヒデさんと歌うあなたへのうた

女声合唱とピアノのための「あなたへのうた」

作詩：栗原寛 作曲：大藤史 編曲：高橋直誠

あなたがいるから 作詩・作曲：なかにしあかね

指揮：辻秀幸 ピアノ：河本充代

演奏：Harmony for JAPAN 2019 女声合唱団



合同合唱 オーケストラと歌う信長貴富作品 5 ～もっとと遠くへ

ことばは魔法 作詩：三好清子 作曲：信長貴富

楽譜を開けば野原に風が吹く 作詩：和合亮一 作曲：信長貴富

遠くへ 作詩：谷川俊太郎 作曲：信長貴富

くちびるに歌を 作詩：C. フライシュレン 訳詞・作曲：信長貴富

指揮：本山秀毅

演奏：Harmony for JAPAN 2019 合唱団&管弦楽団

Message2021

「音楽の絆」

岩手県立盛岡工業高等学校（前 釜石高等学校）教諭 山本友里恵

東日本大震災発生からまもなく 10 年が経過します。当時（2011 年 3 月 11 日）は岩手県沿岸の山田高校で部活動中（吹奏楽部）でした。音楽室での出来事は今でも鮮明に覚えています。

震災直後には受け入れられなかった明るい音楽、震災前までの当たり前の日常の多くは大震災の被害により奪われずぐに取り戻すことの出来ない状況でした。いつもと違う 3 月、新学期を迎えたのは 4 月末のことでした。当時の部員の殆どが被災し、避難所から登校する部員もいました。部活動の再開には時間がかかりましたが、後で部員から「津波で家を失い辛い悲しい日々だったが、部活動の時間（みんなで合奏している時間）は、何もかも忘れて夢中になれる癒しの時間だった。」と話を聞きました。落ち着いて部活動が出来るようになってから避難所で中学生と共にミニコンサートを開きました。演奏する生徒も、被災された方々も笑顔になり、幸せな時間を共有できました。音楽は「人を笑顔にする。人を勇気づける。」と実感しました。

2012 年 4 月に釜石高校に赴任し、音楽部（合唱）の顧問になりました。部員の半数以上が被災していました。家族を失った生徒、友人を失った生徒、津波で家を流出した生徒、辛い体験をした生徒たちでしたが、歌を歌っている時はみんな笑顔でした。ここでも「歌っている時間は、悲しいことは忘れて元気になれる。歌っているうちに自分も癒やされる」と話していました。部員たちとふるさと復興のために私たちに出来ることは何だろうと相談の結果、釜石市内でミニコンサートを始めことにしました。春・夏・クリスマスそれぞれの季節に「私たちの歌声の花束を届けよう」と企画する時間も、練習時間も楽しそう、本当に音楽には人と人を結びつける力があり、喜びを倍にし、悲しみを半減させる力があると思いました。市内でのコンサートでは、楽しみにしてくださる声も多く部員たちは毎回趣向を凝らし楽しんでもらえるように工夫していました。高齢者施設にも訪問し、おじいちゃんおばあちゃんと手を取り合って「ふるさと」や童謡と一緒に歌いました。にこにこ笑顔で一緒に歌う姿は、微笑ましくとても嬉しそうでした。

たくさんの合唱曲と出会いましたが、「群青」を初めて聴いたときは、当時の自分の心境と重なり涙がこぼれました。部員たちも同様でした。震災後に実際に見た風景やテレビで見た風景、あの時、経験したことや辛かったことを思い出しました。学校が休校になり、それまでの学校の日常が当たり前ではなくなる。「あたりまえの日々」がどれほど尊いものなのかを知りました。日々の生活を当たり前と思わずに大切に生きていこうと思っています。震災の時の気持ちを言葉にし音にして表現して下さった小田先生、信長先生には心から感謝いたします。合唱を通じて本山先生にご指導いただき、そのご縁で「Harmony for JAPAN 2019」のステージで、全国各地の合唱団の皆さまと出会うことができました。

部員 4 名と卒業生 4 名、少ない人数でしたが、日本全国の皆さまから被災地釜石へのご支援にお礼と感謝の気持ちを込めて歌声を響かせました。当時の部員たちは、小田先生のピアノ伴奏で「群青」を歌えたことにとっても感激していました。最後に会場の皆さまとの大合唱も感動的でした。スタッフの皆さまのお心遣いもありがとうございました。

私は 2019 年 3 月末で釜石高校での 7 年間の勤務は終了となりましたが、これまでの教員生活の中で、「音楽の力」を強く感じる事が出来た貴重な 7 年でした。震災で失ったものもたくさんありますが、人の優しさ、温かさ、命の大切さ、生きている素晴らしさ、当たり前が当たり前ではなく、全てのごことに感謝し、普通に生活できる幸せを見つめ直す機会となりました。私の釜石高校音楽部顧問としての最後のステージは岩手県民会館での「群青」の指揮でした。これからも歌い継がれていくであろう「群青」という作品に心から尊敬と敬意を表します。そして、これからも合唱をとおして生まれた絆を紡いでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。

こんにちは。

おとしの Harmony for Japan に参加させていただきました、岩手県立宮古高等学校音楽部OGの山口美結です。
 Harmony for Japan に参加する前までは、地域のイベントなどで歌う機会にはありましたが、このような大舞台上で演奏できる機会が減りにありませんでした。
 そのため、おとしの Harmony for Japan に参加した事は、私にとっては貴重な体験となりました。
 関西の合唱団体の演奏を聞いた事、参加者全員で「群青」を歌えた事、久慈高校、釜石高校をはじめとした他校と一緒に演奏できた事（何かの縁があったのかはわかりませんが、一緒に出場した久慈高校、釜石高校の二校とはその後も交流を続ける事ができました。）…そのすべてが今も印象に残っています。
 現在、私は大学に通っています。私の学校は昨年七月から対面授業が始まっていますが、サークル活動は人との距離を十分とり、屋外で活動する、といった条件付きで活動すると表向きにはなっていますが、実際は合唱を初めとしたサークル活動も自粛状態に追い込まれています。
 合唱が通常通りできる日を願ってやみません。
 最後になりますが、来年の Harmony for Japan が、コロナウイルスの影響を受ける事がなく通常の規模で開催できるよう祈っております。

福島県立田村高等学校 OG 石井 歩

コンクールも歌う機会も減ってしまいました。高校最後の年だったので、やりきれない気持ちと悔しさが押し寄せてきました。今までは歌で人を笑顔にしていたのに歌うこと自体が否定されているようでとても悲しかったです。コロナ禍で自分がどれだけ歌うことが好きなのか、歌に支えられていたのかを大きく感じる事が出来ました。
 一刻も早くこの状況がよくなることを祈ります。

福島県立田村高等学校 OG 根本 紀子

2年前に参加させて頂いた Harmony for Japan 当時の3年生の先輩と最後に歌ったステージであり、面川先生の委嘱作品である「愛の日に」を歌ったこともありとても印象に残っています。皆様から頂いた暖かい拍手は今でも私を元気づけるものになっています。新型コロナウイルスの影響で思うように行かないことが増えてもあのステージを思い出し頑張りたいと思います。



2020

復興支援コーラスコンサート

Harmony for JAPAN 2020

～明日へつなぐ・明日へ歌う

2020年3月7日(土)～8日(日)

京都府長岡京記念文化会館

(新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)



ゲスト：信長貴富、小田美樹

東北招待合唱団：(2 団体)

季の音／福島県合唱塾

出演団体：(44 団体)

合唱団 Youth / 岸和田市少年少女合唱団 / 京都市立西京極中学校音楽部 / 舞鶴小中高生合同合唱団 / 関西大学初等部合唱部 / 武陵人合唱團 / アンサンブル風 / レガート / 京都産業大学混声合唱部ニボボ / 女声コーラスむぎ笛 / 京都西山コールアカデミー / Coro Festa / 京都鴨川混声合唱団 / コーロあかつき / 立命館大学混声合唱団メディックス / ル・ヴァン エレガント / Coro Rits / Ensemble Five Seasons / 民謡合唱団 篝 / 日吉台合唱団 / アンサンブル エヴォリュエ / 混声合唱団 coroBRAVI / Harmonia Canone / 合唱団 Rinte / ラピスラズリ / 岐阜大学コーラスクラブ / KCクローバー / 日本新薬・HORIBA ブラボー!合唱団 / 女声合唱団「和」 / 京都シティーフィル合唱団 / Frisches Ei / ムジカ・コロラータ・アンサンブル / コール淡水・神戸 / フォンテーヌ声楽アンサンブル / 神戸中央合唱団 / Voce Carina / 女声コーラス風花 / 女声コーラス "かりん" / 合唱団《ロンド・ハルモニア》 / Ensemble Clair, Kyoto / 合唱団おとくに / グレース コーラス / クロワール / 合唱団 AUG

神戸からの歌声 PRAY FROM KOBE 合唱団

群青を歌おう 指揮・指導：飯沼 京子 お話し・ピアノ：小田 美樹

ユース合同演奏

楽譜を開けば野原に風が吹く 作詩：和合亮一 作曲：信長貴富

ころよ うえ 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富

永遠の花 日本語詞：ヘルビック貴子 作曲：J. ラター

群青 作詞：福島県南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生（構成 | 小田美樹） 作曲：小田美樹 編曲：信長貴富

指揮：本山 秀毅

演奏：Harmony for JAPAN 2020 管弦楽団（7 日） / ピアノ：内藤 典子（8 日）

Harmony for JAPAN 2020 委嘱作品初演

混声合唱とピアノ（四手）のための「Adagio con sentimento」—死者のための典礼より—

作曲：信長 貴富

指揮：本山 秀毅

ピアノ：木下 亜子、内藤 典子

合唱：京都バツハ合唱団、京都大学音楽研究会ハイマート合唱団

ヒデさんと歌う 空・明日・夢

女声合唱曲集「三つの不思議な仕事」

作詩：池澤夏樹 作曲：池辺晋一郎

あなたがいるから 作詩・作曲：なかにしあかね

指揮：辻秀幸 ピアノ：柿木朋子

演奏：Harmony for JAPAN 2020 女声合唱団

合同合唱 オーケストラと歌う信長貴富作品 6 ～明日へ～

先駆者の詩 作詩：山村暮鳥 作曲：信長貴富

リフレイン 作詩：覚和歌子 作曲：信長貴富

歌になりたい 作詩：一倉宏 作曲：信長貴富

夕焼け 作詩：高田敏子 作曲：信長貴富

指揮：本山秀毅

演奏：Harmony for JAPAN 2020 合唱団&管弦楽団

2021

復興支援コーラスコンサート

Harmony for JAPAN 2021

～歌声は生きる力

ゲスト：信長貴富、小田美樹

[希望] ～ とどけ若い歌声

岸和田市少年少女合唱団 / 京都市立西京極中学校音楽部 /

立命館大学混声合唱団メディックス / 舞鶴小中高生合同合唱団 /

合宿団 Youth / 岐阜大学コーラスクラブ

[祈り] ～ 新しい作品に祈りを込めて

混声合唱とピアノ（四手）のための《Adagio con sentimento》

—死者のための典礼より—

作曲：信長 貴富

指揮：本山 秀毅

ピアノ：木下 亜子、内藤 典子

合唱：京都バツハ合唱団、京都大学音楽研究会ハイマート合唱団

[願い] ～ HfJ から生まれた歌たち

信長貴富 作曲《くちびるに歌を》

指揮：飯沼京子 ピアノ：木下亜子

J. ラター 作曲《永遠の花》

指揮：永井英晴 ピアノ：内藤典子

信長貴富 作曲《歌になりたい》指揮：辻秀幸

合唱：Harmony for JAPAN 2021 特別合唱団

[歌声は生きる力] ～ 《群青》とともに

いま、改めて聞く《群青の真実》そして《群青の子たちのいま》

《群青》 テレコーラス&ハミングコーラスで

2021年3月7日(日)
京都府長岡京記念文化会館

(新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)

Harmony for JAPAN 2021 オンライン特別企画 2021年3月7日(日)

出演:

信長 貴富 (作曲家)
小田 美樹 (《群青》作曲家)
坂元 勇仁 (レコーディングディレクター) ほか

モデレーター: 飯沼 京子 (合唱指揮者)

Harmony for JAPAN による新作委嘱・出版活動

出版:

楽譜集「Harmony for JAPAN Choral Collection」

協力出版社: ベーレンライター、ブライトコプフ、
カールス (以上ドイツ)、
オックスフォード大学出版局 (イギリス)、
スラソル (フィンランド)、
カワイ出版、音楽之友社、全音楽譜出版社、
パナムジカ (以上日本)

委嘱:

「A flower remembered (永遠の花)」
(詩・曲 | J. ラター 日本語詞 | ヘルビック貴子)
「歌になりたい」(詩 | 一倉宏 曲 | 信長貴富)
「Adagio con sentimento」(曲 | 信長貴富)

信長貴富氏への編曲委嘱:

(合唱編曲★・オーケストラ伴奏◎・吹奏楽伴奏▲)
「一詩人の最後の歌」◎、「くちびるに歌を」◎・▲、
「夜明けから日暮れまで」◎、
「種山ヶ原」◎、「故郷」◎、「群青」★・◎・▲、「リフレイン」◎、
「言葉は」◎、「遠くへ」◎

講師派遣活動

いわき市、会津若松市、南相馬市、陸前高田市 (2014.8 本山秀毅)
いわき市 (2016.7 本山秀毅)

助成活動

東北学院大学中高大学 OG・OB 合同メサイアコンサート演奏会支援
(2011.10.15)
安積フィメールコール東京 (2012.1.17)
東日本大震災復興支援プロジェクト 「♪岩手で♪歌おう!共に!」
(盛岡/2012.4.13)
東北復興大合唱祭 (仙台/2012.4.30)
復興の詩プロジェクト (仙台/2014.10.10)
歌の絆 より強く! in 宮古 (宮古/2015.7.19-20)
大船渡さんご合唱団 (大船渡/2016.9.4)
メサイアを歌う会 第34回メサイアコンサート (仙台/2016.11.5)
復興の詩プロジェクト 青少年復興音楽祭 (仙台/2016.12.4)
第34回宮古木曜会合唱団定期演奏会 (宮古/2017.2.26)
The Premiere Vol.4 歌の誕生日 ~新進作曲家による新作コンサート~
(仙台/2018.1.8)
第35回宮古木曜会合唱団定期演奏会 (宮古/2018.3.4)
歌おう!共に! in かまいし (釜石/2018.6.2)
合唱団 Palinka 第26回記念定期演奏会 (仙台/2018.6.24)
第36回宮古木曜会合唱団定期演奏会 (宮古/2019.3.21)
第2回大船渡さんご合唱団演奏会 (大船渡/2019.3.24)
郡山女声合唱団 創立55周年記念リサイタル (郡山/2019.6.30)
グリーン・ウッド・ハーモニー第67回定期演奏会 (2019.7.21)
混声合唱団グラン 2nd コンサート (仙台/2019.12.8)
第37回宮古木曜会合唱団定期演奏会 (宮古/2020.2.24)

募金のお願い

一般社団法人 Harmony for JAPAN では、東北の合唱文化の復興に特化して支援するための募金を募ります。合唱を愛する人たちの、音楽でつながる復興支援が実を結びますよう、どうぞご協力よろしくお願いたします。

お振り込み口座

ジャパンネット銀行 ずずめ支店 普通 5914201 シャ) ハーモニーフォー・ジャパン

これまでご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます

長岡京市・長岡京市教育委員会・京都府長岡京記念文化会館・京都府・京都乙訓ライオンズクラブ・京都銀行・サントリービール株式会社京都ビール工場・同志社グリーンクラブ・立命館災害復興支援室・京都府赤十字血液センター・音楽之友社・全音楽譜出版社・カワイ出版・Bärenreiter Verlag・Carus-Verlag・Breitkopf & Härtel・Oxford University Press・SULASOL・Pana Musica ご出演者、ご来場者、お支えくださったすべての皆様 (順不同・敬称略)

私たちにできることはほんのわずかなことではありますが、「歌のちから」「合唱のちから」を信じてこれからも活動して参ります。HfJ に対する皆様方のご理解に心より感謝申し上げますとともに、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



一般社団法人 *Harmony for JAPAN*

〒617-0843 京都府長岡京市友岡 4-14-10
TEL: 080-4232-8762 E-mail: office@harmonyforjapan.com

代表理事 吉田健太郎 (株式会社パナムジカ代表取締役) 理事 辻 秀幸 (声楽家・洗足学園音楽大学客員教授) 理事 永井英晴 (合唱指揮者・京都府合唱連盟理事)
理事 本山秀毅 (合唱指揮者・大阪音楽大学学長) 理事 吉田功弥 (全日本合唱連盟東北支部事務局長) 理事・事務局長 服部敏 (株式会社コーラス・カンパニー代表取締役)

Website: <http://www.harmonyforjapan.com> | Facebook: <https://www.facebook.com/HarmonyforJapan/>

次回開催のご案内

復興支援コンサート「*Harmony for JAPAN 2022*」

2022年3月5日(土)~6日(日) 京都府長岡京記念文化会館
*出演団体の募集などは2021年9月頃に開始の予定です。